

編 2 校 に

大石弘秋町長 行政報告

藤原芳男氏（元名野川分団）

瑞宝双光章を受章



藤原芳男・ミサ子夫妻

23年春の叙勲

元仁淀川町消防団長藤原芳男氏が、消防活動に尽力された功績により、瑞宝双光章を受章された。藤原氏は、昭和37年9月に吾川村消防団団員に任命されて以来、47年の長きにわたり、消防活動の使命の重要性をよく認識し消防団活動に従事、本町消防団の発展に大きく貢献、その功績が認められた。

東日本大震災

震災より半年が経過、6月議会後、宮城県より応援職員の派遣依頼があり、6月24日から延べ6人を派遣。

現在5人が任務を終え、1人が9月16日まで勤務する予定。8月には、大崎診療所医師1人も登米市津山診療所にて診療にあたった。

地域流通商品券

6月下旬に発売。購入者、吾川地区122人、池川地区123人、仁淀地区128人、1人あたり平均購入額、7万8千円余り。

国民健康保険

将来的に地域保険として、一元化運用を図る観点から、今後5年間をめぐりに後期高齢者を国保に移し、都道府県単位で財政運営。

第2段階では、全国一律に全年齢を対象とした市町村国保の都道府県単位化を図る検討がなされている。

地域おこし協力隊

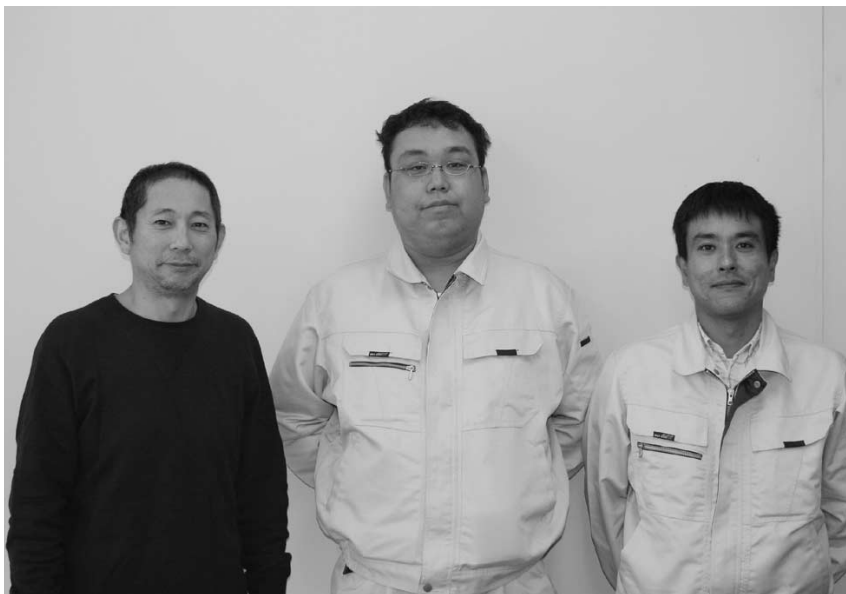
新隊員の面接を、8月28日に行い、京都市と東京都の20代と30代の男性2人の採用を決定。

指定管理

安居公園、自然と溪谷ふれあいの郷運営委員会より、宝来荘など、安居溪谷森林総合施設の管理を、本年度をもって辞退する旨の申し出があり、同施設の管理について見直しの必要が生じた。

子ども手当

本年度限りで廃止、来年度より児童手当を拡充。10月から3歳児未満に月額1万5千円、3歳から小学校卒業までの第1子と第2子には1万円、第3子以降には1万5千円、中学生には一律1万円を支給。



協力隊（石川伊佐男、鈴木洋輔、高萩 誠）隊員

再 学 校 中

学校再編(中学校)

8月9日、学校再編検討委員会より中間報告を受けた。

各位の意見を踏まえ、二子野、遅越地区より東の旧吾川村大崎地域以北の北校区と、崎の山地区より西の旧吾川村名野川地域以南の南校区とし、現在の池川中学校及び仁淀中学校を活用し、町の骨格となる2校を創設。

地域と共に育て「仁淀川町の新しい中学校づくり」というイメージに基づき、2校での切磋琢磨、連携による教育の質の向上を図り、早い時期に2校のスタートがされるよう要請したい。

小学校再編は、中学校の2校体制をベースに「本町の小学校づくり」の協議を進めたい。

本庁舎建設

地域住民や各団体代表13人に、議会代表3人の16人で「仁淀川町役場庁舎建設検討委員会」を立

ち上げ、具体的な検討に着手。

43年を経過した建物は老朽化が著しく、維持補修費の増大、耐震診断では、大地震の強い揺れには耐えられないとの判定結果が出ている。

学校再編との調整が必要となるが、「吾川中学校グラウンド」及び「大崎保育所周辺の町有地」の2カ所を建設候補地として検討を進めたい。

林業振興

町内の林産、製材事業者7業者が設立発起人となり、事業協同組合の設立に立ち上がり、県の認可申請に向け作業を進め、10月上旬設立を予定。

組合設立後、(株)ソニアと交渉・調整の上、施設を譲り受け、事業を開始する計画。

道路災害

百川内、国道494号の災害は、7月25日から片側交互通行を開始、年内に

復旧工事の発注ができるよう県に要望。

森で発生した国道439号、9月中旬、国の災害査定が行われる。

名野川、国道33号線復旧工事は、年内に完成予定。

町道寺村大板線、来年2月末の完成を目指す。町道岩柄線は、10月中旬の完成予定。

健全化判断比率

実質公債費比率は昨年より2.8%下回る10.6%となり基準の比率を下回っている。

特別会計や企業会計と併せた連結決算も昨年度より健全な状態である。

24年度職員採用

9月16日に受付を終了し、10月17日に全国統一試験により第1次試験を実施する。



平成21年度 高知県木材加工流通施設整備事業 (池川木材工業)

ここが聞きたい

Q & A

— 第4回（7月）臨時会 —

第4回臨時議会を7月13日に開催し、2議案を原案どおり可決した。

■23年度一般会計補正予算（第2号）

4152千円を追加し、予算の総額を62億2649万1千円とする。

問 山口議員

19節の説明を、詳しく。

答 竹本企画課長



集出荷支援事業は県の補助金を使い農産物の集出荷体制を構築し、フードプランと、その他の団体も検討中で200万円の補正。

産業ステップアップ事業は、池川地区の茶農家の婦人グループに備品購入や、製品開発、流通、経営の指導に150万円の補正。

問 山口議員

経営母体は。

答 企画課長

（株）池川茶園を立ち上げて、代表者は山中氏、

茶農家の婦人6人。

問 山口議員

出荷、収集する農家数は。

答 企画課長

フードプランに野菜を出している清流市組合に声掛けしている。具体的な数は出ていない。

問 山口議員

経営指導は、だれが行うのか。

答 企画課長

商人塾の先生で、今年度だけ、直接指導を受けることになっている。

問 山口議員

今の団体が、どの範囲でやっているのか。

答 企画課長

工房の店頭、ゆの森、インターネットを通じての販売をしている。10月位に工房でも始めると聞いている。

問 橋本議員

フードプランの手数料

が高いと聞いている。

作って出しても利益が上がらん、そのうえで集荷料を徴収すれば、農家に厳しさが増すのではないか。

答 企画課長

集荷手数料はこの補助事業で負担。フードプランの手数料は、この補助事業でカバーできないがフードプランと検討する中で少しでも農家に、お金が入る考え方をお願いをしたい。

問 橋本議員

プリンは高価と聞いているが、価格は抑えられないか。味は良かった。

答 企画課長

手作り地元産の食材を使うことで、高級志向のスイーツの需要が高まっているので、今のプリンは、そういう方向で、また新しい製品を開発していく中で、お土産として気軽に買えるようなものも、考えているようだ。

問 西森（常）議員

コミュニティバス施設指定委託料31万円の根拠は。

答 企画課長

寺村の災害で大板に別便を走らせる必要がある、その大板での利用者が、5人から6人いると聞いている。

一番費用が掛かる想定でタクシーの片道2、870円程度で、その往復分、週一回、復旧工事が6カ月位で算出している。

問 山口議員

立木売り払い収入と場所。

答 大野産業建設課長



長坂山の森の工場で、面積は約13haを森林組合が1、030㎡の搬出間伐を行い、収入が388万円。（全員 可決）